

発行：(一社)SVI推進協議会 【事務局：糸島市 学研都市づくり課】
TEL：092-332-2079 MAIL：gakkentoshi@city.itoshima.lg.jp



はじまりの地でSVIの説明を受ける
知事・県議等

服部福岡県知事が SVIはじまりの地を視察

福岡県では、知事が市町村の特色を踏まえてテーマを設定し、地元で活躍する人と意見交換を行う「知事といきいきトーク」を実施しています。

今回、「九州大学学術研究都市づくり～糸島サイエンス・ヴィレッジ (SVI) を例に～」をテーマに糸島市が選定され、7月19日(金)に服部県知事がSVIはじまりの地(志摩馬場)を訪問しました。はじまりの地で糸島市からSVIについて説明をしたのち、村理事から直流実証実験についての説明と設備の案内を行いました。

その後九州大学南口の泊にあるグローバルホテル糸島にて平野理事や地元の企業・住民の方、九大の教員や学生、農業者と意見交換会を開催。服部知事から、「SVIは非常に可能性を秘めた場所。県としても一緒に取り組ませていただきたい。」とのコメントがありました。



↑ グローバルホテルでの意見交換会の様子



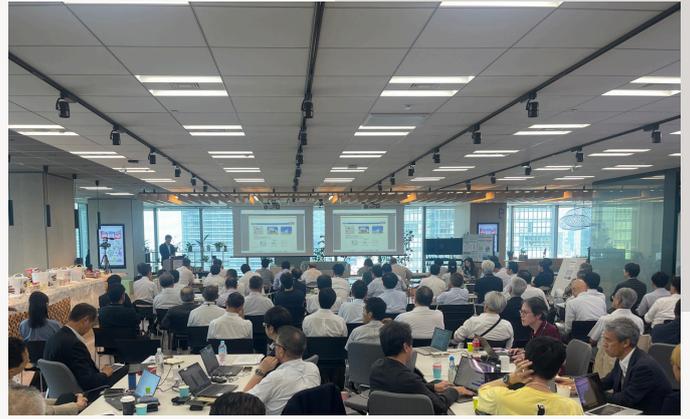
↑ Apple Vision Proを体感する服部知事

直流友の会in東京

7月5日(金)に、東京都千代田区にある(株)奥村組のクロスイノベーションセンターにて村理事が進める直流実証実験の仲間達が集う「直流友の会」が開催されました。

現地にて約100名、オンラインで約200名が参加したこの会では、メーカー視点、利用者視点、社会課題視点から10団体がIT・モビリティ・エネルギーの有効利用について講演を行いました。

第2部となる懇親会では平野理事からSVIまちづくり構想についての講演を行い、日本中の企業へ最先端のまちづくりをアピールをする機会となりました。



電動ラジコン草刈りロボットの実証実験を実施

5月30日(木)に、はじまりの地にて(株)ユニックが開発した電動ラジコン草刈りロボット「ユニモワーズ」の草刈り実証実験を行いました。本実証実験は、傾斜の急な法面など困難な場所で草刈りを実施し、ユニモワーズのラジコン操作性・草刈り効率の実証や自動化の試行を行うものです。

ユニモワーズは45度の斜面でも草刈りをすることができ、はじまりの地圃場斜面の1m以上の丈がある草も楽々と粉碎していました。今後、ローカル5Gを用いた自動運転の可能性について実証実験を続けていく予定です。



企業版ふるさと納税のお願い

当協議会の各種事業は、糸島市への「企業版ふるさと納税」で運営されています。令和6年9月時点で、延べ15社から合計4500万円を超えるご支援をいただきました。改めて感謝申し上げます。

企業版ふるさと納税は寄附を行った企業が寄附額の最大9割の税控除を受けることができる制度で、この優遇措置の適用期限は現時点で令和7年3月末までとなっております。

SVI実現のため、各社からのご寄附をお待ちしております。ご関心のある方はお早めに糸島市学研都市づくり課までご連絡をお願いいたします。

→SVI企業版ふるさと納税パンフレット

